

4. 授業概要の見方

それぞれの科目は、既習の知識や技術の修得を前提として、学修が進んでいきます。

以下の説明を読み、計画的・主体的な学習行動をとり、授業に臨みましょう。

「科目全体のねらい・授業目標」…その授業で理解してほしい、身につけてほしい、学習の到達を示しています。何を学んでいるのか、学習成果の確認をしましょう。

「ディプロマポリシーとの関連」…その授業（科目）とディプロマポリシーとの関連を示しています。科目を受講するときに表記されているディプロマポリシーを意識しながら受講してください。

「授業の流れ」…授業1回ごとの学習内容や方法、学習成果、使用するテキストのページ、準備するものなどがわかります。

学習内容は、その日の授業の主なテーマです。

方法は、授業の形式です。講義、グループワーク、技術演習、技術試験などがあります。

- ・**演習**とは、課題学習や小集団学習など、主体的活動を求める学習形態です。
- ・**技術演習**とは、技術の習得を目的として看護実習室などで実践する学習形態です。技術演習の時は、ユニホーム（ナースウェアまたはトレーニングウェア）への更衣、技術演習の準備（ベッドメイキング、演習で使用する必要物品の準備、手洗い等）、学習環境の整備（椅子の準備、テキストの準備や資料の配布等）が必要です。
- ・**技術試験**とは、技術演習で学んだ技術の実践を教員が評価する試験です。
- ・その他、施設見学や施設での授業等もあります。

学習成果は、授業を受けた結果、理解して欲しい到達内容です。その日の授業の理解度を自己評価し、次の授業に主体的に臨みましょう。

準備物品は、授業で準備が必要なものです。記載がある場合は各自で準備しましょう。

「受講上の注意」…授業を受ける上で厳守すべき重要事項です。評価に係る内容の記載もあります。見落としがないようにしましょう。

「評価方法」…その科目の成績となる内容（評価物）です。筆記試験の他に、授業中の小テストや課題、レポート、技術試験結果等、評価対象となるものを示しています。

「使用するテキスト」…その授業で使用するテキストです。授業の開始までには、その日の授業の範囲に目を通しておきましょう。

「参考文献」…テキスト以外に活用できる文献等です。授業での理解度の向上や深化に繋がります。